



一中だより

文京区立第一中学校

校長 山内 卓司

【教育目標】○進んで学習し、よく考える人 ○責任を重んじ、思いやりのある人 ○心身ともに健康でねばり強い人

今を懸命に生きる

校長 山内 卓司

今月は『いのちと人権月間』です。そこで、いのちの大切さについて考えてみたいと思います。

先月、アメリカのメジャーリーグではドジャースがワールドシリーズ2連覇を果たしました。大谷選手や山本選手がチームの中心となって活躍する中、もう一人の日本人選手・佐々木朗希選手がシーズン終盤に抑え投手として登板し、注目を集めました。

佐々木選手は小学校3年生のとき、岩手県陸前高田市で東日本大震災に遭いました。津波で自宅が流され、祖父母と37歳の父を失うという深い悲しみを経験しました。震災後は小学校の校庭に並ぶ仮設住宅で暮らしながら、野球に打ち込みました。当時を振り返って「野球をしているときが一番楽しかった」と語っています。高校時代には160キロを超える速球を投げ、日本プロ野球に進みました。プロでは完全試合を成し遂げるなどの実績を残しましたが、けがに悩まされ、年間を通して活躍できたことはありませんでした。

それでも佐々木選手は「夢であるメジャーリーグに早く挑戦したい」と強く願い、批判を受けながらも渡米しました。「なぜそこまで急ぐのか」その理由を震災から10年の節目に語った言葉から知ることができます。

「いつ当たり前の日常がなくなるか分からない。それがすごい怖いと思った。毎日を一生懸命生きていきたい。」

愛する人を失った経験から、いのちの尊さを深く知っているからこそ、「今を懸命に生きる」ことを選んだのです。わがままと言われても、覚悟をもって後悔しない生き方を貫く。その姿に私は強く心を打たれました。

みなさんは、与えられた一度きりの<いのち>をどう使いますか？

コロナ禍でも感じたように、当たり前の日常は当たり前ではありません。だからこそ、今を大切に、後悔なく懸命に生きてほしいと思います。

私からの願いです。『今を懸命に生きましょう！』

保護者学校評価アンケートのお願い

全ての保護者からご意見をいただき、来年度に向けて成果と課題について考えていきたいと思っております。

回答率90%以上を目標にしていますので、ご多用の中で恐縮ではございますが、ご協力お願いいたします。右記のQRコードをお使いください。

【保護者】令和7年度 学校評価
(文京区立第一中学校)



「税の標語」入選作品

5, 652作品の応募から選ばれました。

全間連入選	3年
青色申告会 会長賞	2年
優 秀 賞	2年
入 選	1年 2名

部活動の活躍

文京区新人大会 野球部 4位
ブロック大会 バドミントン部 個人戦ダブルス 第6位 (都大会出場)

【12月行事予定】

12月 1日 (月)	全校朝礼 教育・進路相談 ⑤⑥カット いのちと人権月間 (始)
2日 (火)	教育・進路相談 ③④カット
3日 (水)	教育・進路相談 ④カット
4日 (木)	教育・進路相談 ①②カット
5日 (金)	教育・進路相談 ⑤⑥カット
6日 (土)	「ふれあいの集い」作品展 (始)
8日 (月)	「ふれあいの集い」作品展 (終) 脊柱側弯検診
9日 (火)	B時程 委員会
10日 (水)	中央委員会
11日 (木)	学校運営連絡協議会 地域教育協議会
15日 (月)	学年朝礼 安全指導
16日 (火)	避難訓練
19日 (金)	茶道教室 (1年)
24日 (水)	特別清掃 給食 (終)
25日 (木)	終業式 学習相談
26日 (金)	冬季休業日 (始) 学校閉庁日
31日 (水)	いのちと人権月間 (終)